



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月30日

上場会社名 株式会社きょくとう 上場取引所 大
コード番号 2300 URL <http://www.ci-kyokuto.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 年廣
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長 (氏名) 三好 清一郎 (TEL) 092(503)0050
四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日 配当支払開始予定日 平成23年11月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の業績(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	3,887	△2.4	513	△0.2	542	△1.4	268	△5.8
23年2月期第2四半期	3,980	△5.2	514	3.8	550	3.9	284	17.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	48 38	—
23年2月期第2四半期	51 37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	5,315	3,580	67.4	646 17
23年2月期	4,944	3,347	67.7	604 10

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 3,580百万円 23年2月期 3,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	5 50	—	5 50	11 00
24年2月期	—	5 50	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	5 50	11 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	7,120	4.1	442	2.6	504	0.2	213	△17.6	38	61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	5,551,230株	23年2月期	5,551,230株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年2月期2Q	9,590株	23年2月期	9,590株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期2Q	5,541,640株	23年2月期2Q	5,541,745株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、サプライチェーンの復旧から全体として緩やかに回復しつつあります。

しかしながら、急速な円高の進行による企業収益の悪化や欧州の経済不安、米国経済の減速など先行き不透明な状況が続いております。

個人消費においては、一部に消費回復の兆しが見られたものの、震災後の消費マインド悪化と雇用・所得環境の悪化など、依然として厳しい消費環境が続いております。

当社におきましても、個人消費の低迷に加え、原材料の高止まりなどによるコスト上昇など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中で、当社は、需要の掘り起こしと新たな需要の創造のために新規マーケットの開拓と店舗の活性化のための販促活動を積極的に取り組みました。

新規マーケットの開拓については、当第2四半期会計期間において新たに5店舗を出店し、加えて2店舗を移転リニューアルいたしました。これにより当第2四半期累計期間の新規出店は18店舗、移転リニューアルは6店舗となりました。

また、店舗の活性化のための活動として、ナイターセールや夏祭りセールなど地域に密着したサービスとお客様に楽しんで頂くためのイベントを積極的に実施しました。

この他にも、6月より新たに発売を開始した超撥水「はねことまもる」やしみ抜きなどの付加価値商品の受付点数が増加したことにより一点単価が増加し、収益の拡大に寄与しました。この新商品「はねことまもる」は、販売1点につき50円を寄付する復興支援商品として販売しており、品質とともにお客様に大変好評を頂いております。

以上の結果、当第2四半期会計期間の業績は、売上高は、1,689,496千円と前年同四半期と比べ75,188千円(4.3%)の減収となりました。

営業利益は、101,493千円と前年同四半期と比べ9,887千円(8.9%)の減益、経常利益は117,720千円と前年同四半期と比べ14,145千円(10.7%)の減益となりました。四半期純利益は65,111千円と前年同四半期と比べ3,358千円(4.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて315,175千円増加し、2,341,597千円となりました。これは、現金及び預金が301,014千円、売掛金が10,722千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて55,531千円増加し、2,973,770千円となりました。これは、有形固定資産が50,367千円、投資その他の資産が18,525千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて370,706千円増加し、5,315,368千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて127,501千円増加し、1,065,118千円となりました。これは、未払法人税等が112,967千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて10,097千円増加し、669,398千円となりました。これは、長期借入金が72,824千円減少したものの、資産除去債務が84,391千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて137,599千円増加し、1,734,516千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて233,106千円増加し、3,580,851千円となりました。これは、利益剰余金が237,642千円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、第1四半期会計期間末に比べ19,962千円減少し、当第2四半期会計期間末には1,640,202千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間における営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期と比べ2,288千円(3.7%)減少し、59,645千円となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益117,720千円、売上債権の減少額56,782千円、減価償却費28,298千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額23,364千円、未払消費税等の減少額12,311千円、その他の負債の減少額83,160千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間における投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期と比べ12,328千円(24.9%)減少し、37,255千円となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入225,312千円などであり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出240,416千円、有形固定資産の取得による支出20,359千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間における財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期と比べ52,860千円増加(前年同四半期は10,507千円の収入)し、42,352千円となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出38,292千円などであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の業績予想につきましては、平成23年4月15日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降の経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

④ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ2,009千円減少し、税引前四半期純利益は57,804千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は83,068千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,114,040	1,813,026
売掛金	54,917	44,194
商品	21,250	20,041
原材料及び貯蔵品	18,189	14,454
前払費用	59,159	61,745
その他	74,039	72,959
流動資産合計	2,341,597	2,026,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	437,387	395,321
土地	1,687,777	1,687,777
その他(純額)	76,707	68,406
有形固定資産合計	2,201,872	2,151,505
無形固定資産		
のれん	11,545	19,590
その他	63,147	68,464
無形固定資産合計	74,692	88,055
投資その他の資産		
差入保証金	478,471	476,615
その他	218,733	202,063
投資その他の資産合計	697,205	678,679
固定資産合計	2,973,770	2,918,239
資産合計	5,315,368	4,944,662
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,174	30,243
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	—	35,000
1年内返済予定の長期借入金	149,408	153,543
未払金	312,755	287,203
未払法人税等	248,186	135,219
賞与引当金	26,496	41,693
役員賞与引当金	—	3,250
ポイント引当金	119,819	104,592
資産除去債務	343	—
その他	69,934	46,872
流動負債合計	1,065,118	937,616

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
固定負債		
長期借入金	258,426	331,250
退職給付引当金	112,265	106,896
役員退職慰労引当金	121,600	121,094
資産除去債務	84,391	—
その他	92,715	100,060
固定負債合計	669,398	659,300
負債合計	1,734,516	1,596,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,966	395,966
利益剰余金	2,640,206	2,402,564
自己株式	△3,133	△3,133
株主資本合計	3,588,131	3,350,489
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,279	△2,743
評価・換算差額等合計	△7,279	△2,743
純資産合計	3,580,851	3,347,745
負債純資産合計	5,315,368	4,944,662

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	3,980,830	3,887,201
売上原価	1,142,245	1,100,864
売上総利益	2,838,585	2,786,336
販売費及び一般管理費	2,324,204	2,273,052
営業利益	514,380	513,283
営業外収益		
受取利息	639	353
受取配当金	885	549
受取家賃	18,321	18,992
その他	25,311	16,250
営業外収益合計	45,157	36,145
営業外費用		
支払利息	4,542	3,812
その他	4,313	2,789
営業外費用合計	8,855	6,601
経常利益	550,682	542,827
特別損失		
固定資産売却損	839	556
固定資産除却損	8,090	2,203
減損損失	5,487	—
投資有価証券評価損	7,685	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	55,794
特別損失合計	22,102	58,554
税引前四半期純利益	528,579	484,272
法人税等	243,923	216,151
四半期純利益	284,656	268,121

【第2四半期会計期間】

（単位：千円）

	前第2四半期会計期間 （自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）	当第2四半期会計期間 （自平成23年6月1日 至平成23年8月31日）
売上高	1,764,684	1,689,496
売上原価	562,880	538,851
売上総利益	1,201,803	1,150,644
販売費及び一般管理費	1,090,422	1,049,151
営業利益	111,381	101,493
営業外収益		
受取利息	321	225
受取配当金	562	199
受取家賃	9,337	9,388
その他	13,966	8,749
営業外収益合計	24,188	18,563
営業外費用		
支払利息	2,193	1,819
その他	1,510	516
営業外費用合計	3,703	2,336
経常利益	131,865	117,720
特別損失		
固定資産売却損	839	—
固定資産除却損	2,429	—
減損損失	1,109	—
投資有価証券評価損	187	—
特別損失合計	4,565	—
税引前四半期純利益	127,300	117,720
法人税等	58,831	52,609
四半期純利益	68,469	65,111

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	528,579	484,272
減価償却費	52,481	55,714
のれん償却額	13,563	8,045
減損損失	5,487	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△308	5,368
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,752	506
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,487	△15,197
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,250	△3,250
ポイント引当金の増減額(△は減少)	16,609	15,227
受取利息及び受取配当金	△1,525	△902
支払利息	4,542	3,812
投資有価証券評価損益(△は益)	7,685	—
有形固定資産除却損	8,090	2,203
有形固定資産売却損益(△は益)	839	556
売上債権の増減額(△は増加)	△9,369	△10,722
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,501	△4,943
仕入債務の増減額(△は減少)	8,762	7,931
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,917	22,104
その他の資産の増減額(△は増加)	6,772	△49,428
その他の負債の増減額(△は減少)	△27,790	128,240
小計	608,347	649,538
利息及び配当金の受取額	1,850	1,093
利息の支払額	△4,506	△3,887
法人税等の支払額	△106,984	△121,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	498,707	525,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△391,596	△347,783
定期性預金の払戻による収入	459,510	372,578
有形固定資産の取得による支出	△66,170	△73,913
有形固定資産の除却による支出	△4,709	△168
有形固定資産の売却による収入	238	1,760
無形固定資産の取得による支出	—	△294
出資金の払込による支出	△15	—
短期貸付けによる支出	—	△1,606
短期貸付金の回収による収入	40	419
差入保証金の差入による支出	△11,774	△12,782
差入保証金の回収による収入	31,196	10,926
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,719	△50,864

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△70,938	△76,959
社債の償還による支出	△5,000	△35,000
リース債務の返済による支出	△5,187	△6,224
配当金の支払額	△30,577	△30,616
自己株式の取得による支出	△43	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,745	△148,799
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	453,681	325,808
現金及び現金同等物の期首残高	1,131,258	1,314,393
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,584,940	1,640,202

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。